

箕輪町全図

辰野町

堂地橋

南箕輪村

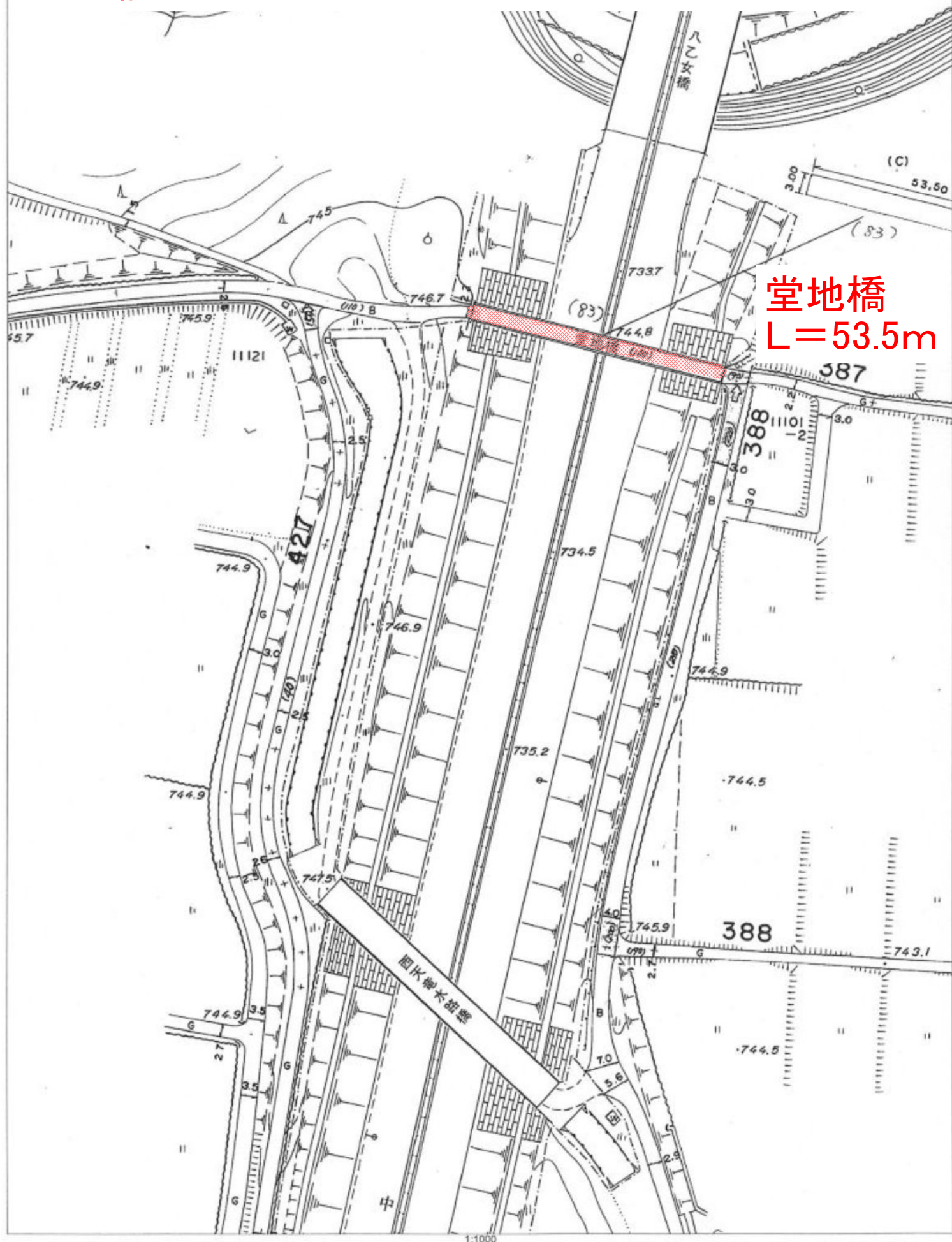
1 : 25,000

0 1000 2000 3000m



平成28年度 社会資本整備総合交付金事業
橋梁補修工事

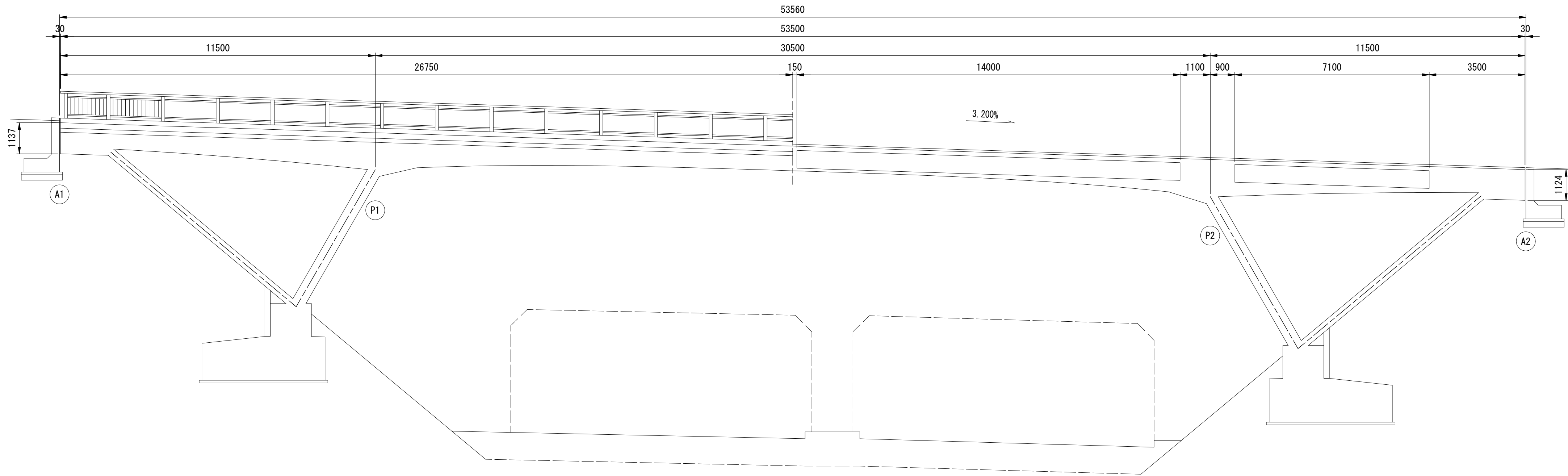
堂地橋



堂地橋 上部工構造一般図

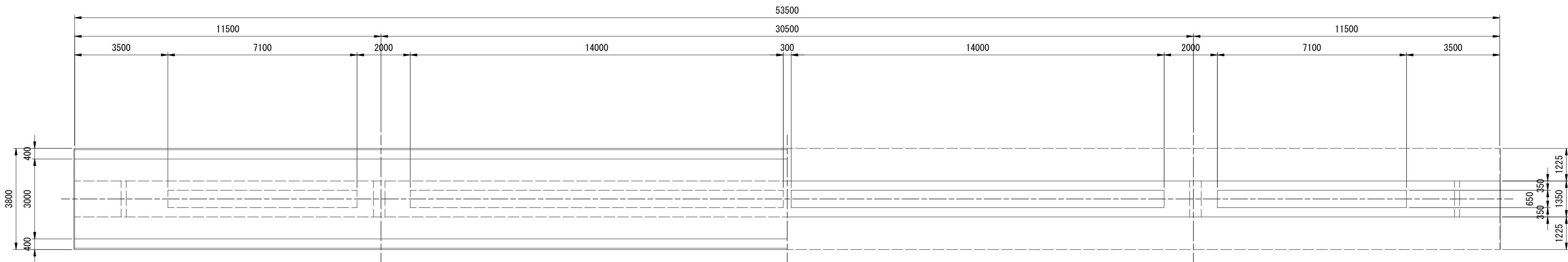
S=1:100

側 面 図 S=1:100



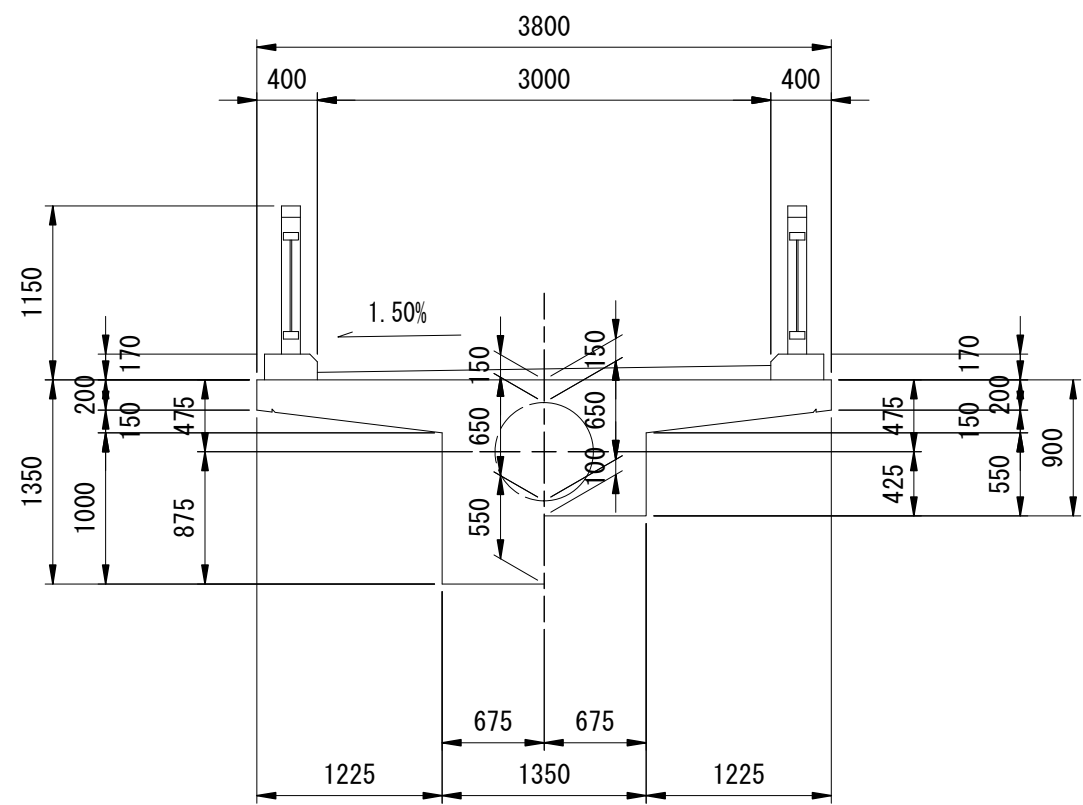
平 面 図 S=1:100

至 東京



至 名古屋

断 面 図 S=1:50



設計条件

型 式	PC斜材付II型ラーメン橋	
橋 長	53.560m	
桁 長	53.500m	
支 間	11.500m+30.500m+11.500m	
有 効 幅 員	3.000m	
活 荷 重	TL-14	
斜 角	90° 00′	
縦 断 勾 配	3.200%	
コンクリート強度	350kg/cm ²	
導 入 時	300kg/cm ²	
圧縮応力度	115kg/cm ²	
引張応力度	13.5kg/cm ²	
舗 装 厚	50～73mm	
P C 鋼 材	37φ26.8	φ23
引 張 強 度	181kg/mm ²	95kg/mm ²
設計荷重時	108kg/mm ²	57kg/mm ²
導 入	130kg/mm ²	72kg/mm ²
鉄 筋 (SD30)	1800kg/cm ²	

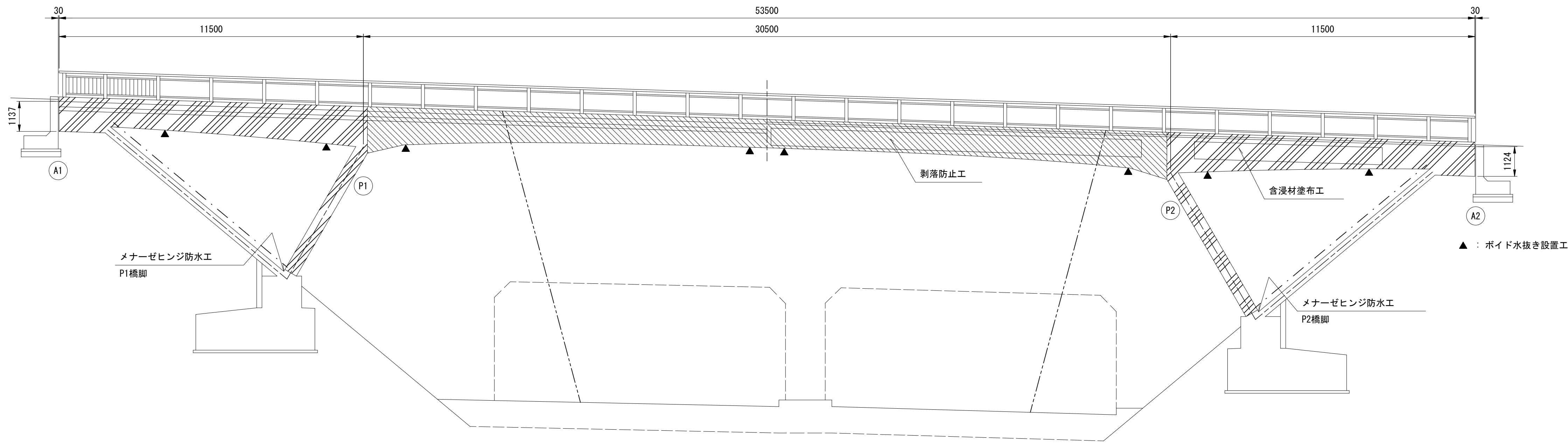
業務名/工事名	H28 社会資本整備総合交付金事業 橋梁補修 工事		
路線名・河川名等	堂地橋		
施工箇所名			
図面の種類	堂地橋 上部工構造一般図		
縮 尺	1:100	図面番号	1
会 社 名	中日本パワエィ・エンジニアリング 名古屋株式会社		
事務所名	箕 輪 町 役 場		

堂地橋 補修一般図

S=1:100

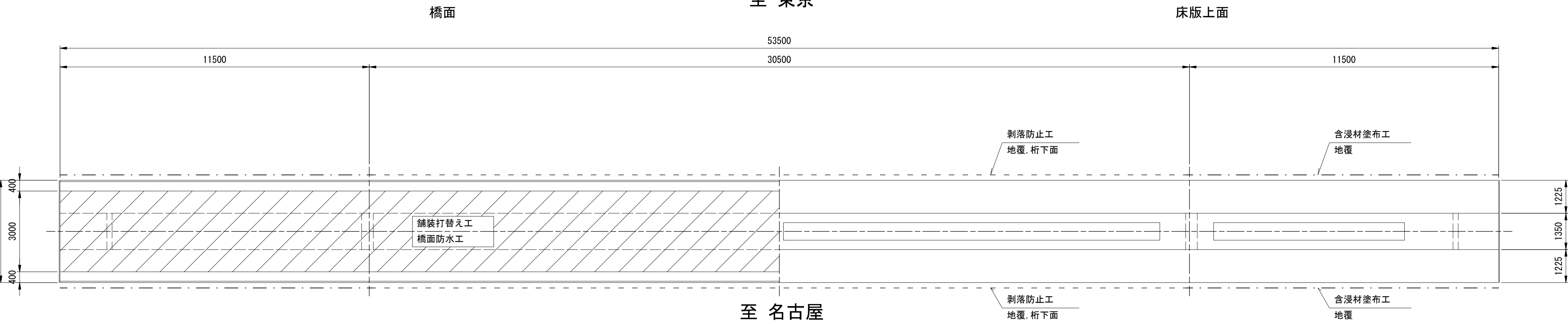
側面図

S=1:100



平面図

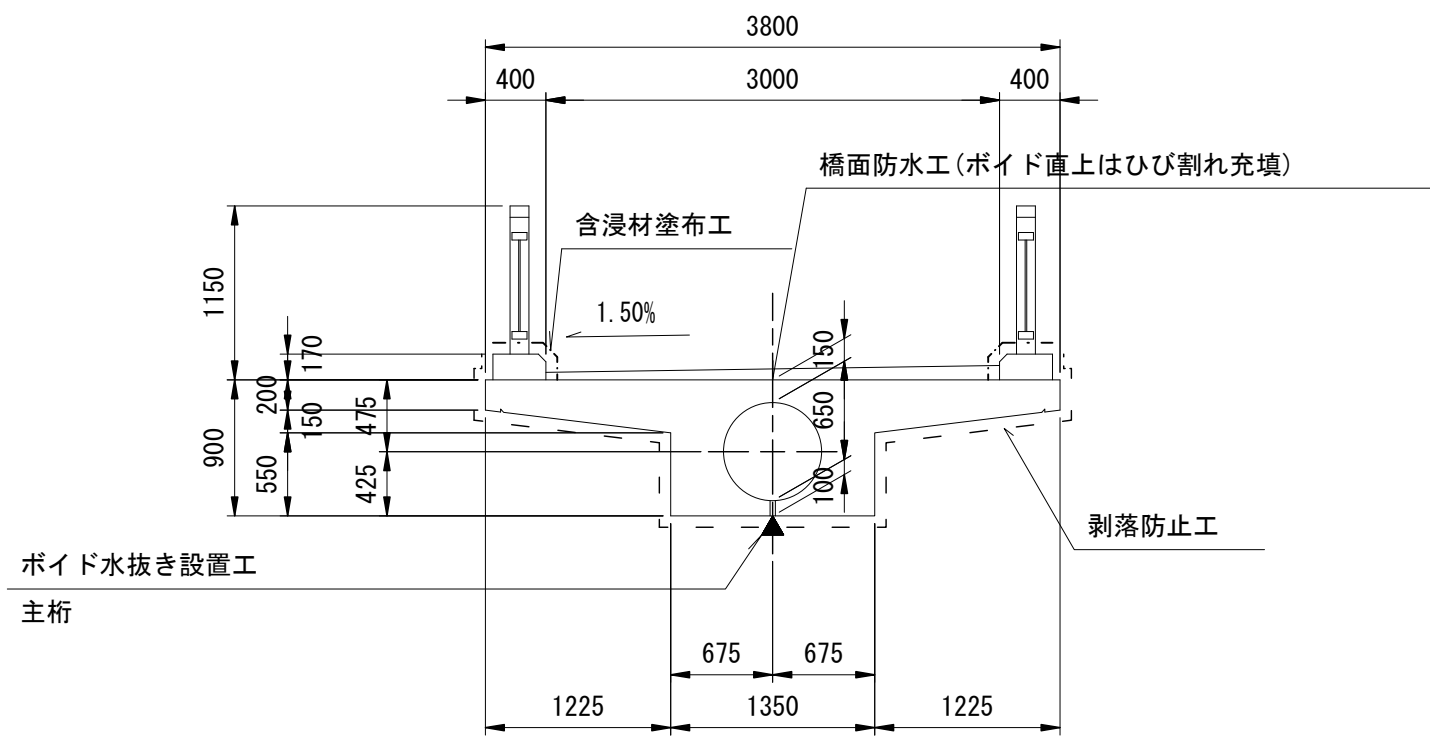
S=1:100



至 名古屋

断面図

S=1:50

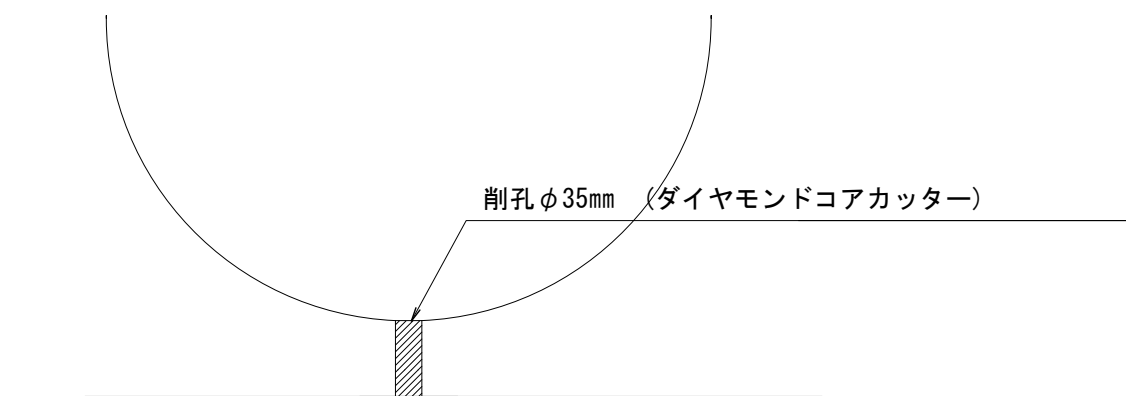


補修工一覧

部位			損傷内容	補修項目
上部工	主桁		剥離・鉄筋露出	断面修復工（無収縮性 [※] リーメント [※] 、亜硝酸リチウム入り）
				ポイド水抜き設置工
				剥落防止工
		中空ポイド上	ひびわれ	可とう性エポキシ樹脂充填
	地覆	A1-A2径間		含浸材塗布工
橋面	舗装		ひびわれ	橋面防水工（ポイド直上はひび割れ充填）、舗装打替え工
	伸縮			伸縮装置取替え工、撤去工
下部工	橋脚	P1、P2橋脚	ひびわれ	断面修復工（無収縮性 [※] リーメント [※] 、亜硝酸リチウム入り）
			剥離・鉄筋露出	可とう性エポキシ樹脂充填
				含浸材塗布工
				メナーゼヒンジ防水工

ポイド水抜き詳細図

S=1:10



水抜きパイプの施工については監督員と協議により決定すること

ポイド水抜き設置工

名 称	単 位	数 量	備 考
ポイド水抜き孔	箇所	8	φ35mm

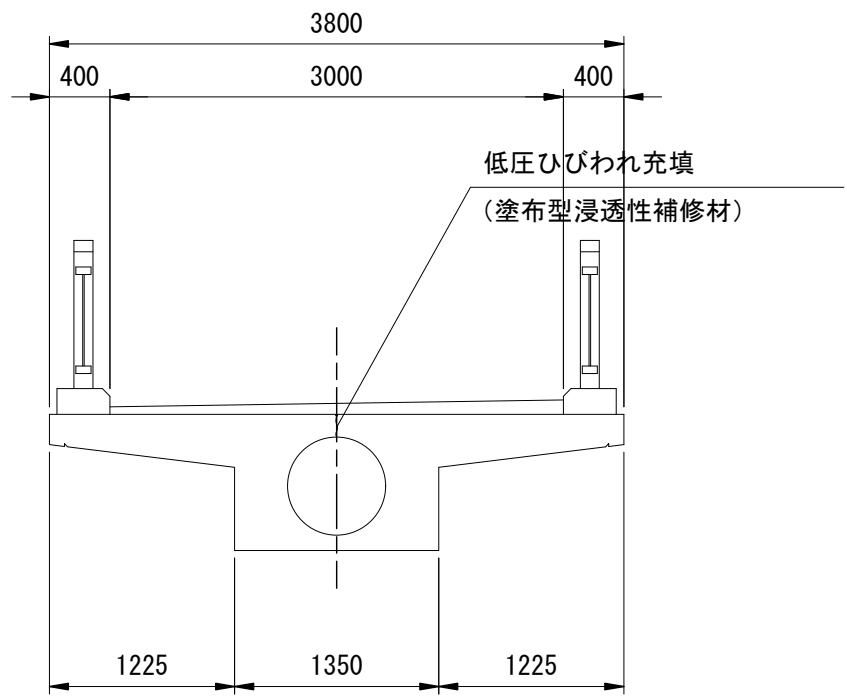
注) 1. 施工時においては、現地詳細調査を行い図面と照合のこと。

業務名/工事名	H28 社会資本整備総合交付金事業 橋梁補修 工事		
路線名・河川名等	堂地橋		
施工箇所名			
図面の種類	堂地橋 補修一般図		
縮 尺	1:100	図面番号	2
会 社 名	中日本ハイウェイ・エンジニアリング 名古屋株式会社		
事務所名	箕 輪 町 役 場		

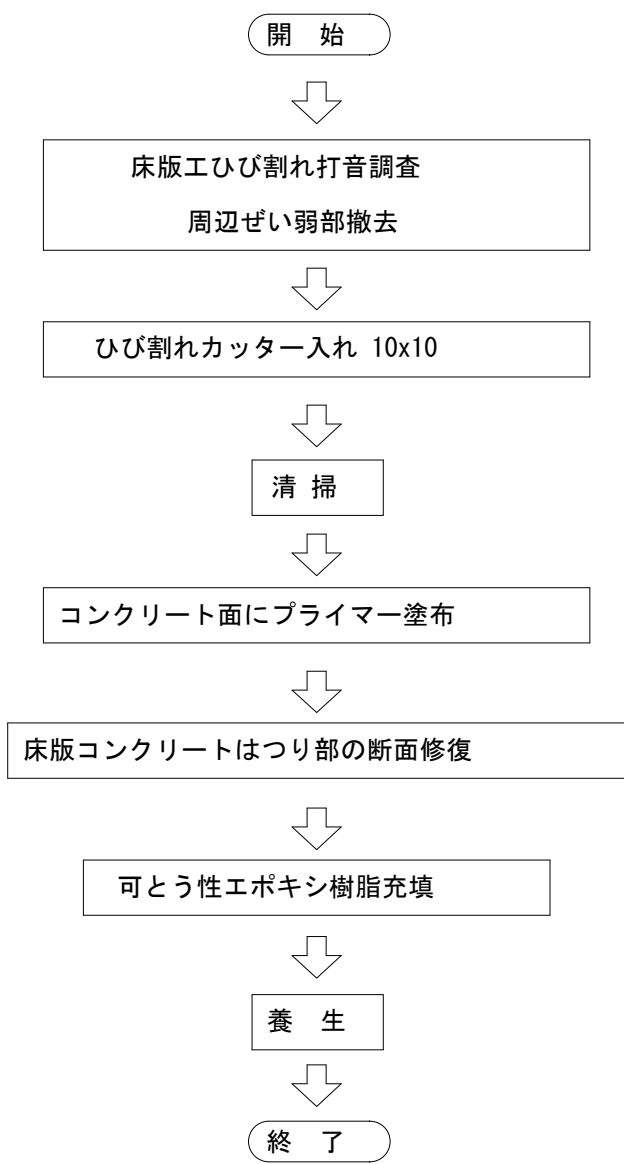
堂地橋 補修図(その5)

今 回 施 工

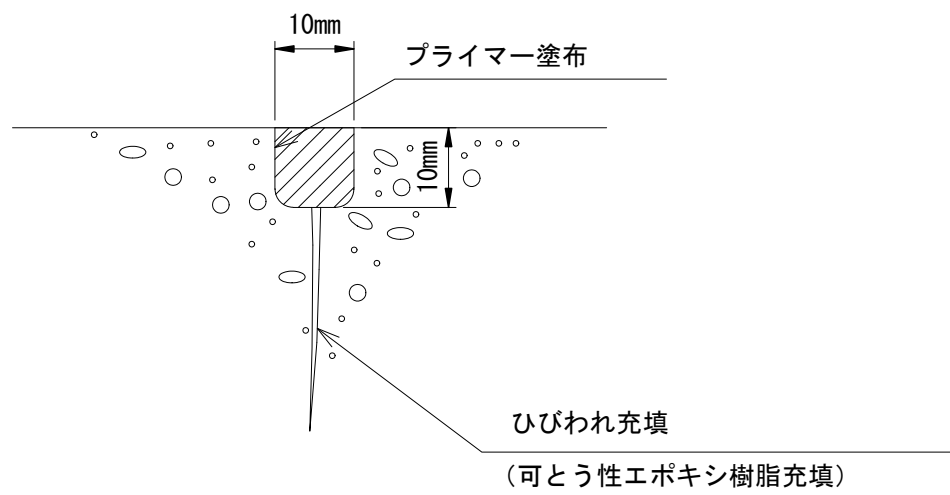
ボイド上部ひびわれ補修要領図



中空ボイド上ひびわれ補修要領



中空ボイド上ひびわれ補修詳細図

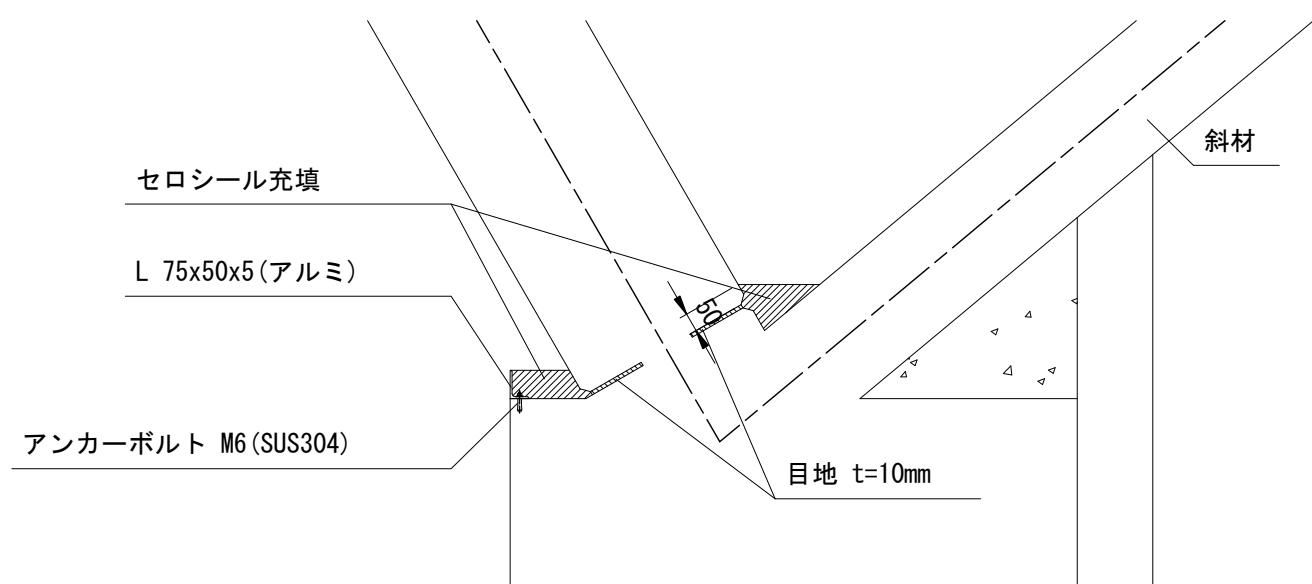


延長数量

ひびわれ	箇所	ひびわれ長	備考
長さ (mm)		(m)	
53500	1	53.5	X0.5

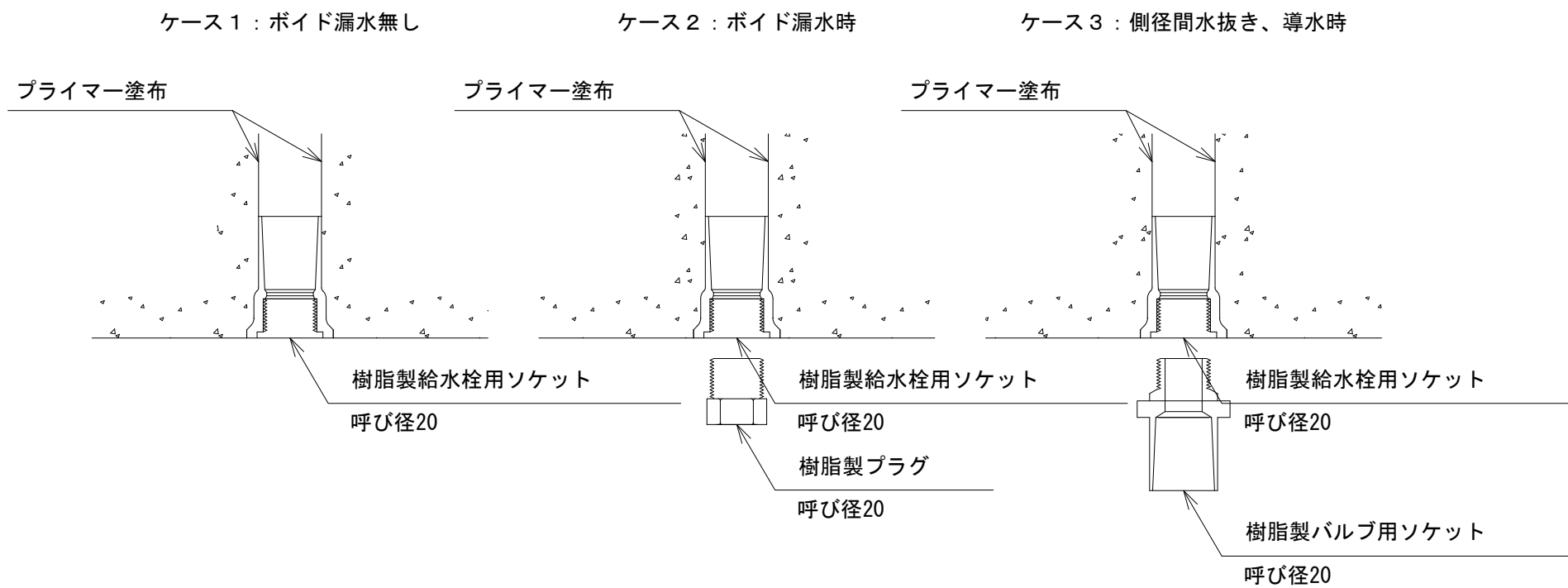
注) コンクリート舗装撤去時に決定する。

メナーゼヒンジ防水工



中央径間側はアングルを端に設置し、セロシールはアングル天端でレベルとする。斜材側は目地から50mmのところまでレベルとする。

ボイド水抜きパイプ参考図



※1 水抜きパイプの施工については監督員と協議により決定すること。

※2 パイプ接合部にはシールテープを施工する事。

断面修復工一覧表

番号	損傷の種類	損傷範囲		箇所	面積 (m2)	備考
		縦 (mm)	横 (mm)			
1	剥離・鉄筋露出	170	7120	1	1.211	東京側壁高欄内面
2	剥離・鉄筋露出	170	930	1	0.159	東京側壁高欄内面
3	剥離・鉄筋露出	170	530	1	0.091	東京側壁高欄内面
4	剥離・鉄筋露出	170	450	1	0.077	東京側壁高欄内面
5	剥離・鉄筋露出	170	410	1	0.070	東京側壁高欄内面
6	剥離・鉄筋露出	170	490	1	0.084	東京側壁高欄内面
7	剥離・鉄筋露出	170	460	1	0.079	東京側壁高欄内面
8	剥離・鉄筋露出	170	310	1	0.053	東京側壁高欄内面
9	剥離・鉄筋露出	170	440	1	0.075	東京側壁高欄内面
10	剥離・鉄筋露出	170	320	1	0.055	名古屋側壁高欄内面
11	剥離・鉄筋露出	170	260	1	0.045	名古屋側壁高欄内面
12	剥離・鉄筋露出	170	410	1	0.070	東京側側面
13	剥離・鉄筋露出	170	510	1	0.087	東京側側面
14	剥離・鉄筋露出	170	850	1	0.145	東京側側面
15	剥離・鉄筋露出	170	370	1	0.063	東京側側面
16	剥離・鉄筋露出	170	1290	1	0.220	東京側側面
17	剥離・鉄筋露出	230	200	1	0.046	東京側側面
18	剥離・鉄筋露出	220	780	1	0.172	東京側側面
19	剥離・鉄筋露出	170	380	1	0.065	東京側側面
20	剥離・鉄筋露出	170	260	1	0.045	東京側側面

番号	損傷の種類	損傷範囲		箇所	面積 (m2)	備考
		縦 (mm)	横 (mm)			
21	剥離・鉄筋露出	170	310	1	0.053	東京側側面
22	剥離・鉄筋露出	120	390	1	0.047	東京側側面
23	剥離・鉄筋露出	110	400	1	0.044	東京側側面
24	剥離・鉄筋露出	230	990	1	0.228	下面
25	剥離・鉄筋露出	770	260	1	0.201	下面
26	剥離・鉄筋露出	260	310	1	0.081	下面
27	剥離・鉄筋露出	300	270	1	0.081	下面
28	剥離・鉄筋露出	290	340	1	0.099	下面
29	剥離・鉄筋露出	1350	410	1	0.554	下面
30	剥離・鉄筋露出	980	2070	1	2.029	下面
31	剥離・鉄筋露出	170	390	1	0.067	名古屋側側面
32	剥離・鉄筋露出	230	490	1	0.113	名古屋側側面
33	剥離・鉄筋露出	170	570	1	0.097	名古屋側側面
34	剥離・鉄筋露出	170	440	1	0.075	名古屋側側面
35	剥離・鉄筋露出	210	340	1	0.072	P1橋脚・A1面
36	剥離・鉄筋露出	180	1170	1	0.211	P1橋脚・P2面
37	剥離・鉄筋露出	160	1320	1	0.212	P2橋脚・P1面
38	剥離・鉄筋露出	450	2120	1	0.954	P2橋脚・A2面
合計					8.130	

ひびわれ注入工一覧表

番号	ひびわれ		箇所	ひびわれ (m)	備考	
	幅 (mm)	長さ (mm)				
L1	0.200	590	1	0.59	P1橋脚東京側側面	a
L2	0.200	780	1	0.78	東京側側面	b
L3	0.200	530	1	0.53	東京側側面	c
L4	0.200	190	1	0.19	東京側側面	c
L5	0.200	850	1	0.85	東京側側面	c
L6	0.300	560	1	0.56	下面	d
L7	0.200	890	1	0.89	下面	d
L8	0.200	1420	1	1.42	下面	d
L9	0.300	380	1	0.38	下面	d
L10	0.200	480	1	0.48	P1橋脚名古屋側側面	e
L11	0.200	3190	1	3.19	名古屋側側面	f
L12	0.200	730	1	0.73	P1橋脚・P2面	g
L13	0.200	690	1	0.69	P1橋脚・P2面	g
L14	0.200	450	1	0.45	P1橋脚・P2面	g
L15	0.200	540	1	0.54	P1橋脚・P2面	g
L16	0.200	870	1	0.87	P1橋脚・P2面	g
L17	0.200	360	1	0.36	P1橋脚・P2面	g
L18	0.200	620	1	0.62	P1橋脚・P2面	g
L19	0.200	760	1	0.76	P1橋脚・P2面	g
L20	0.300	190	1	0.19	P1橋脚・P2面	g
L21	0.200	450	1	0.45	P1橋脚・P2面	g
L22	0.200	1980	1	1.98	P2橋脚・P1面	h
L23	0.400	2160	1	2.16	P1橋脚・斜材	i
合計				19.66		

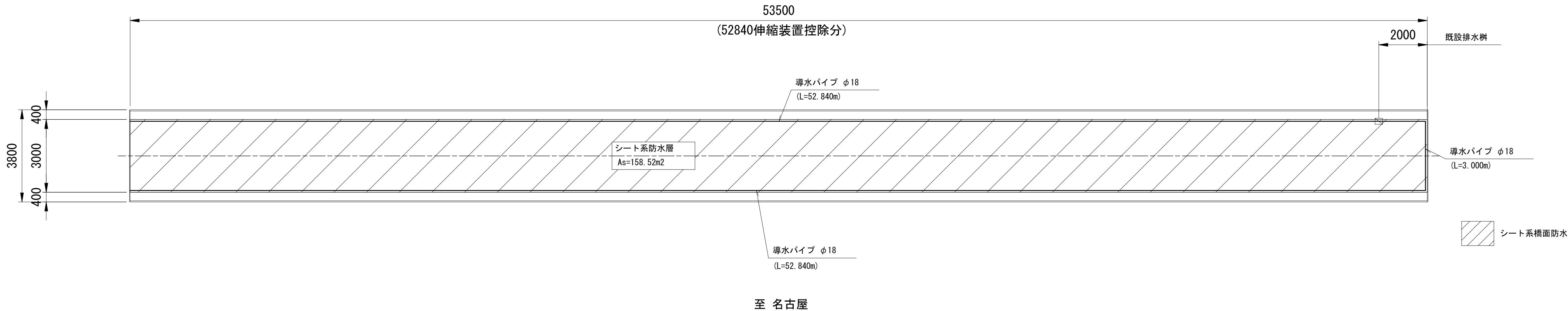
注) 1. 画像判定のため設計数量が変わる可能性があるので
現地詳細調査を行い図面と照合のこと。

業務名/工事名	H28 社会資本整備総合交付金事業 橋梁補修 工事		
路線名・河川名等	堂地橋		
施工箇所名			
図面の種類	堂地橋 補修図(その5)		
縮 尺	-	図面番号	3
会 社 名	中日本パウエイ・エンジニアリング 名古屋株式会社		
事務所名	箕 輪 町 役 場		

堂地橋 橋面防水詳細図(その1)

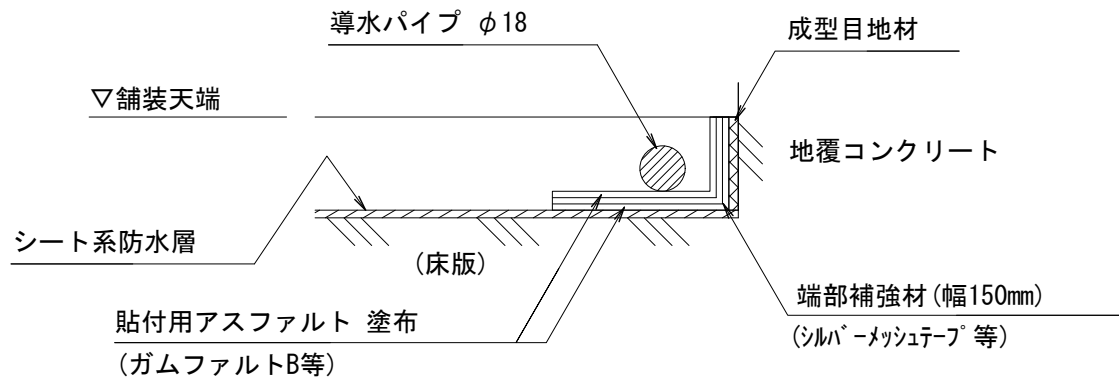
S=1:100

平面図
至 東京



至 名古屋

端部処理構造図



橋面防水材料表

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
橋面防水	シート系防水層	m2	158.5	
導水パイプ ステンレス製	φ18	m	108.7	
成型目地材	幅30mm	m	111.7	
端部補強材	幅150mm	m	111.7	
補強ホース	φ28 (内径φ18)	本	1	L=5550

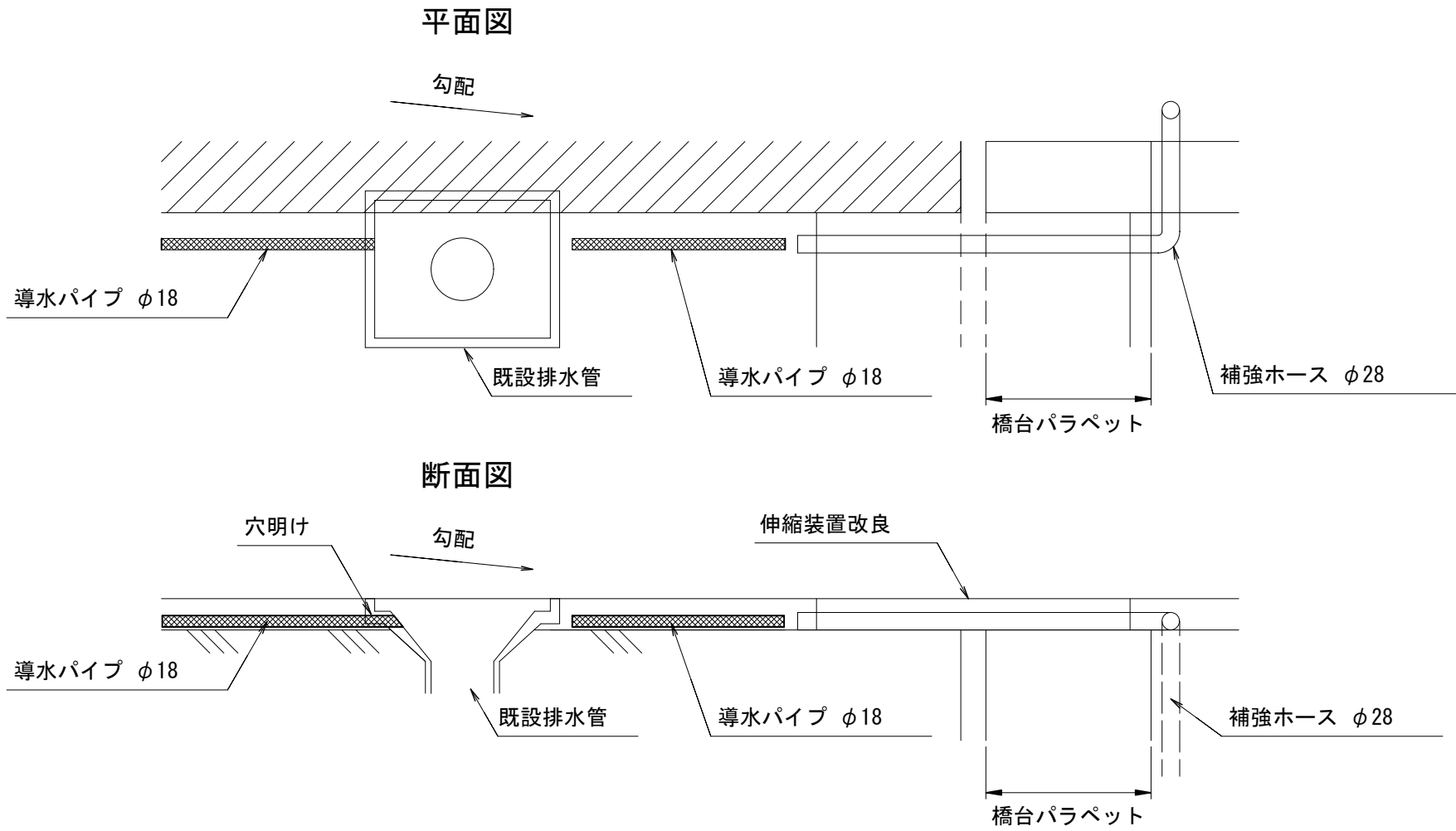
舗装打ち換え工

名 称	仕様・寸法	単位	数 量	備 考
撤去工	コンクリート舗装	m3	11.7	t=73mm
復旧工	アスファルト舗装	m2	160.5	t=73mm

- ※1) 対象橋梁の舗装厚については、73mm(平均)と仮定するが、
施工時に既設の舗装厚を確認し、現状に応じた舗装厚を再検討すること。
- ※2) 舗装については、土工部との摺付けを行うこと。
- ※3) コンクリート舗装の撤去については、交差する中央道への破片の
落下の恐れがあるため、小型切削機にて、撤去を行うこと。

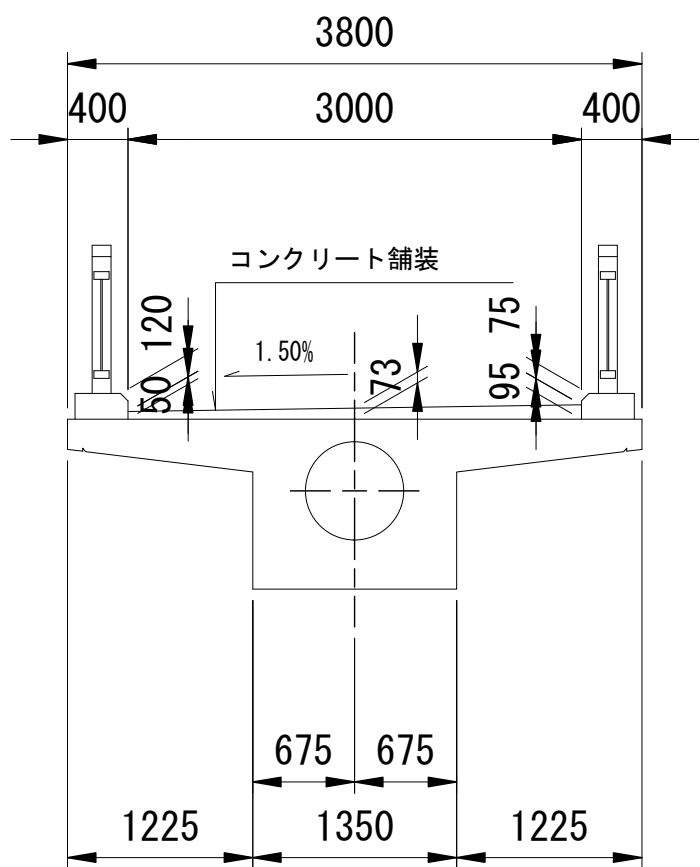
- 注) 1. 施工の際は、現地再測を行い図面と照合のこと。
2. 路面切削時には舗装厚を確認した上で切削深さを設定するものとし、
コンクリート面へ損傷を与えないよう配慮する。

排水樹詳細図

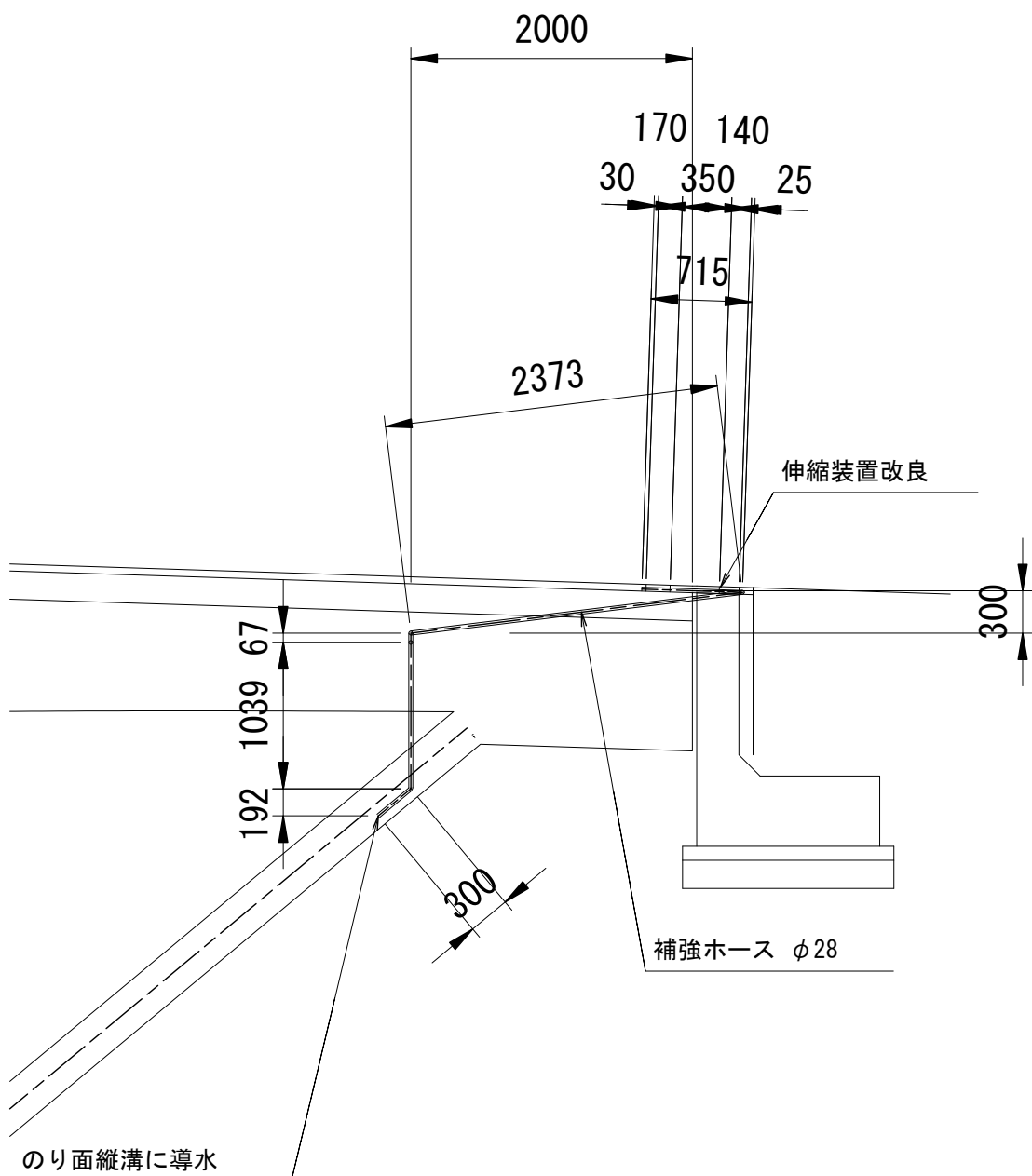
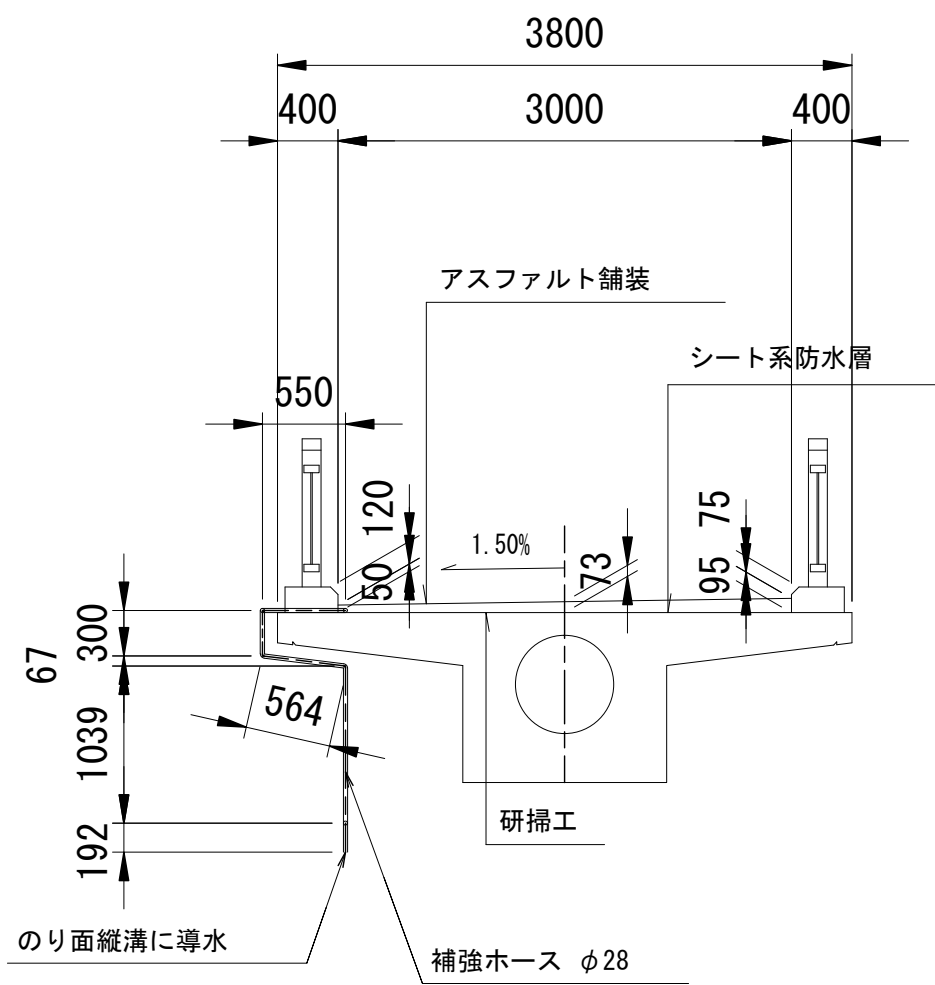


業務名/工事名	H28 社会資本整備総合交付金事業 橋梁補修 工事		
路線名・河川名等	堂地橋		
施工箇所名			
図面の種類	堂地橋 橋面防水詳細図(その1)		
縮 尺	1:100	図面番号	4
会 社 名	中日本パワエィ・エンジニアリング 名古屋株式会社		
事務所名	箕 輪 町 役 場		

断面図
現況図 S=1：50



補修図

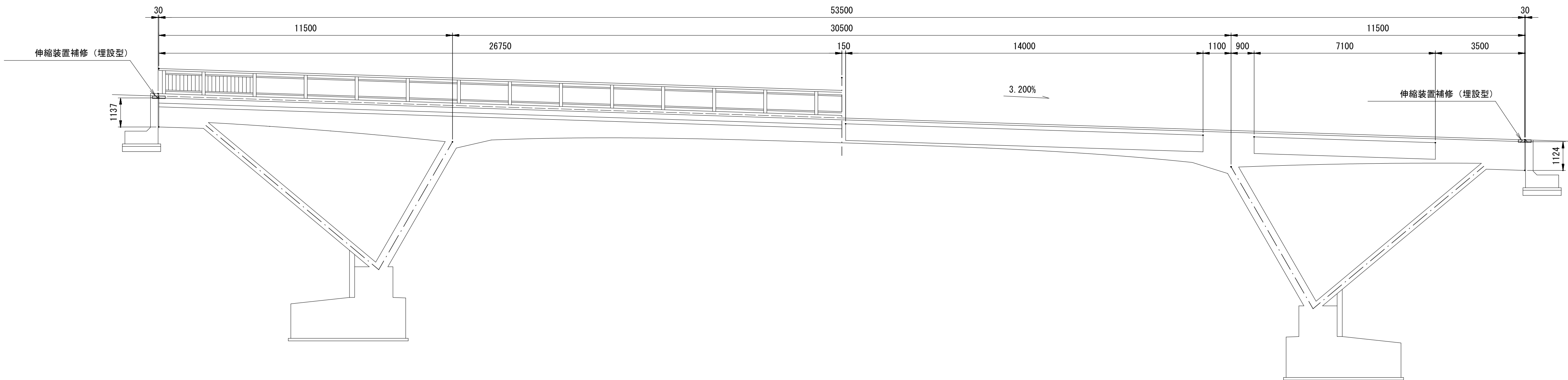


注) 1. 施工の際は、現地再測を行い図面と照合のこと。
2. 路面切削時には舗装厚を確認した上で切削深さを設定するものとし、
コンクリート面へ損傷を与えないよう配慮する。

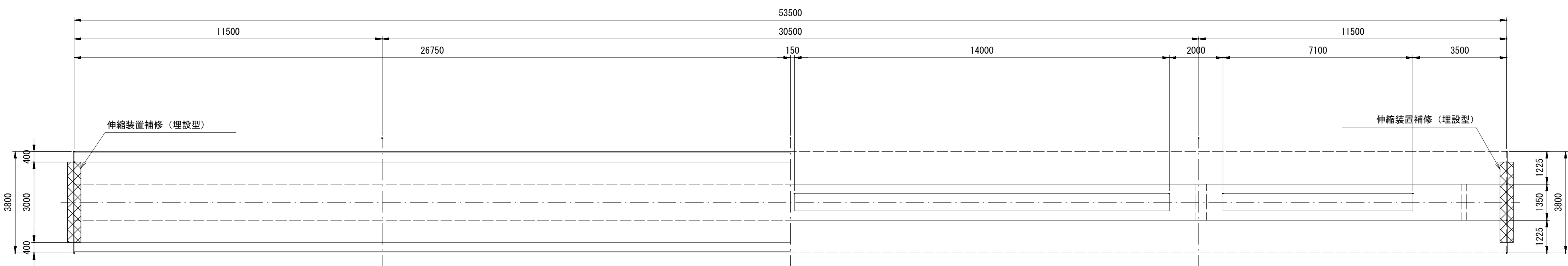
業務名/工事名	H28 社会資本整備総合交付金事業 橋梁補修 工事		
路線名・河川名等	堂地橋		
施工箇所名			
図面の種類	堂地橋 橋面防水詳細図(その2)		
縮 尺	1：50	図面番号	5
会 社 名	中日本パウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社		
事務所名	箕 輪 町 役 場		

堂地橋 伸縮装置詳細図(その1) S=1:100

側面図

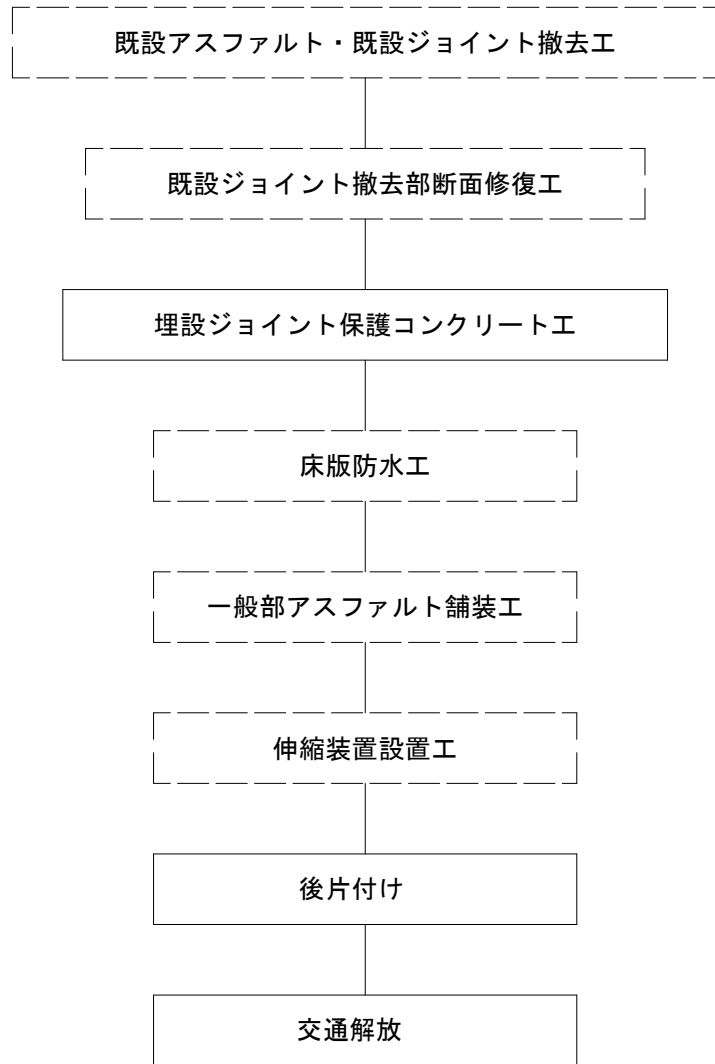


平面図



伸縮装置補修工フロー

(標準)



数量表

名 称	規 格	数 量 (m)			備 考
		(A1)	(A2)	合計	
伸縮装置補修工	埋設型 MMJ DS同等品 (舗装厚内型、後付)	3.0	3.0	6.0	W350×H72.5 (50~95) mm

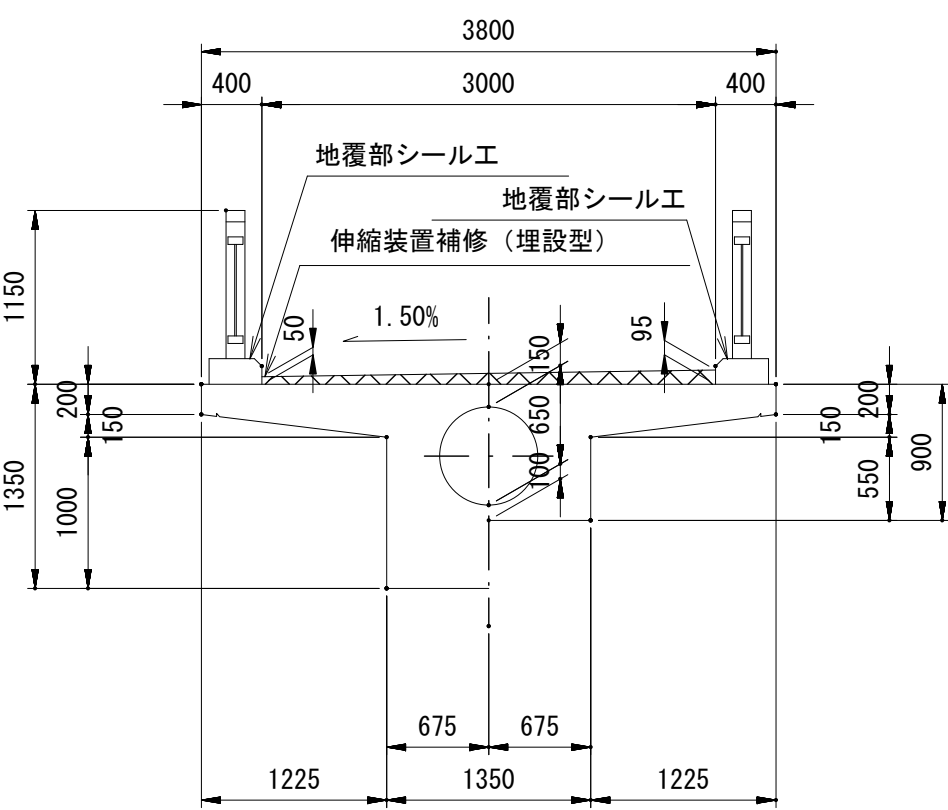
- *1. 地震部はシリコン系シーラ材とする。
- *2. 施工基面のレベル調整 (10mm程度) 以外は別途断面修復工を実施すること。

使用主要材料数量表 (10m当り参考値)

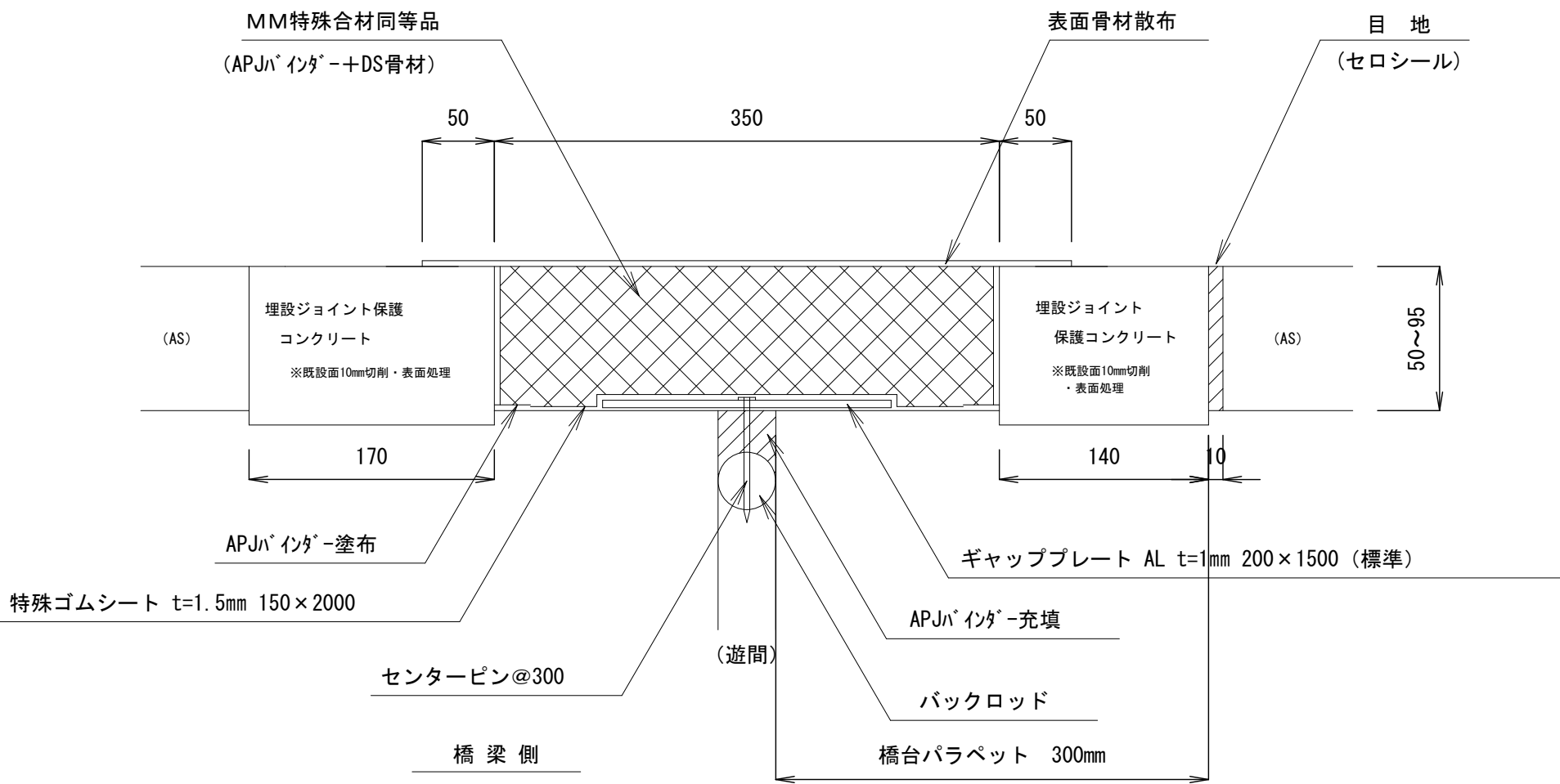
名 称	規 格	数 量 (kg)	備 考
バインダー	APJ150n'インダ-	119.8	W350×H72.5
骨材	DS骨材	479.1	W350×H72.5

- *1. 施工に際しては、現地調査・実測確認のうえ実施すること。
- *2. ジョイント合材体積は、道路勾配を考慮した既設舗装厚にて決定する。

断面図 S=1:50



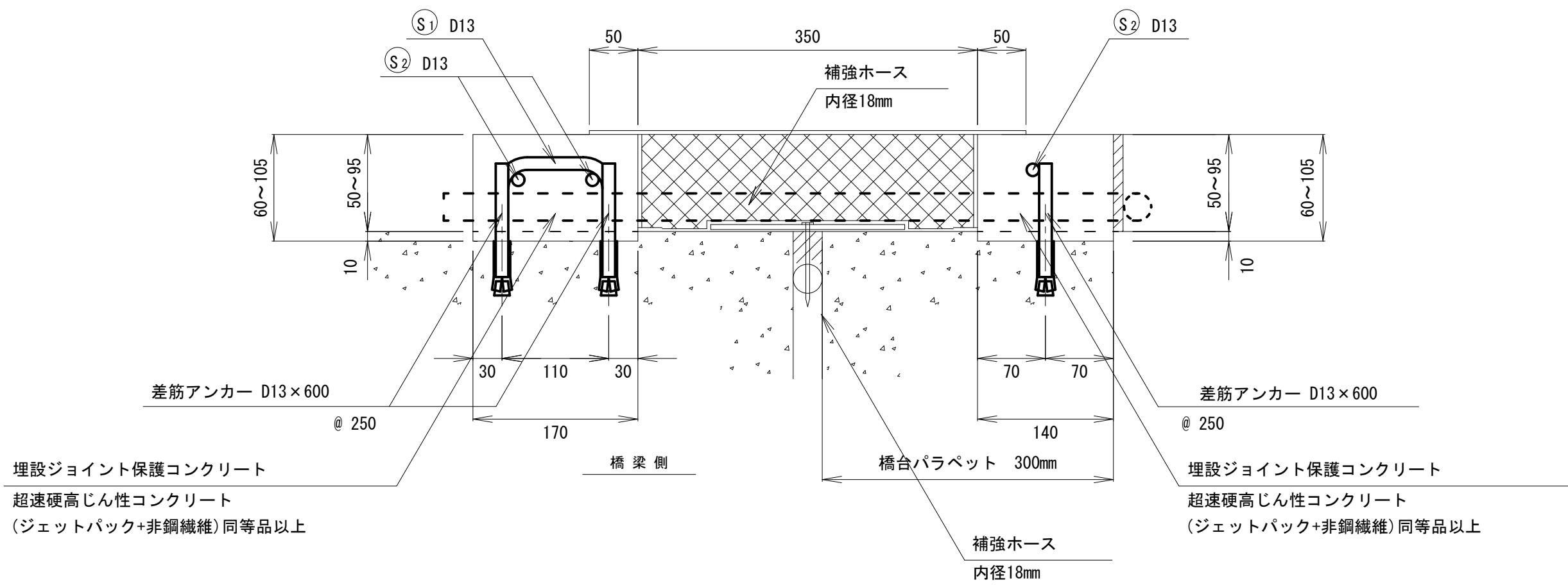
伸縮装置 (埋設型) 標準断面図



堂地橋 伸縮装置詳細図(その2)

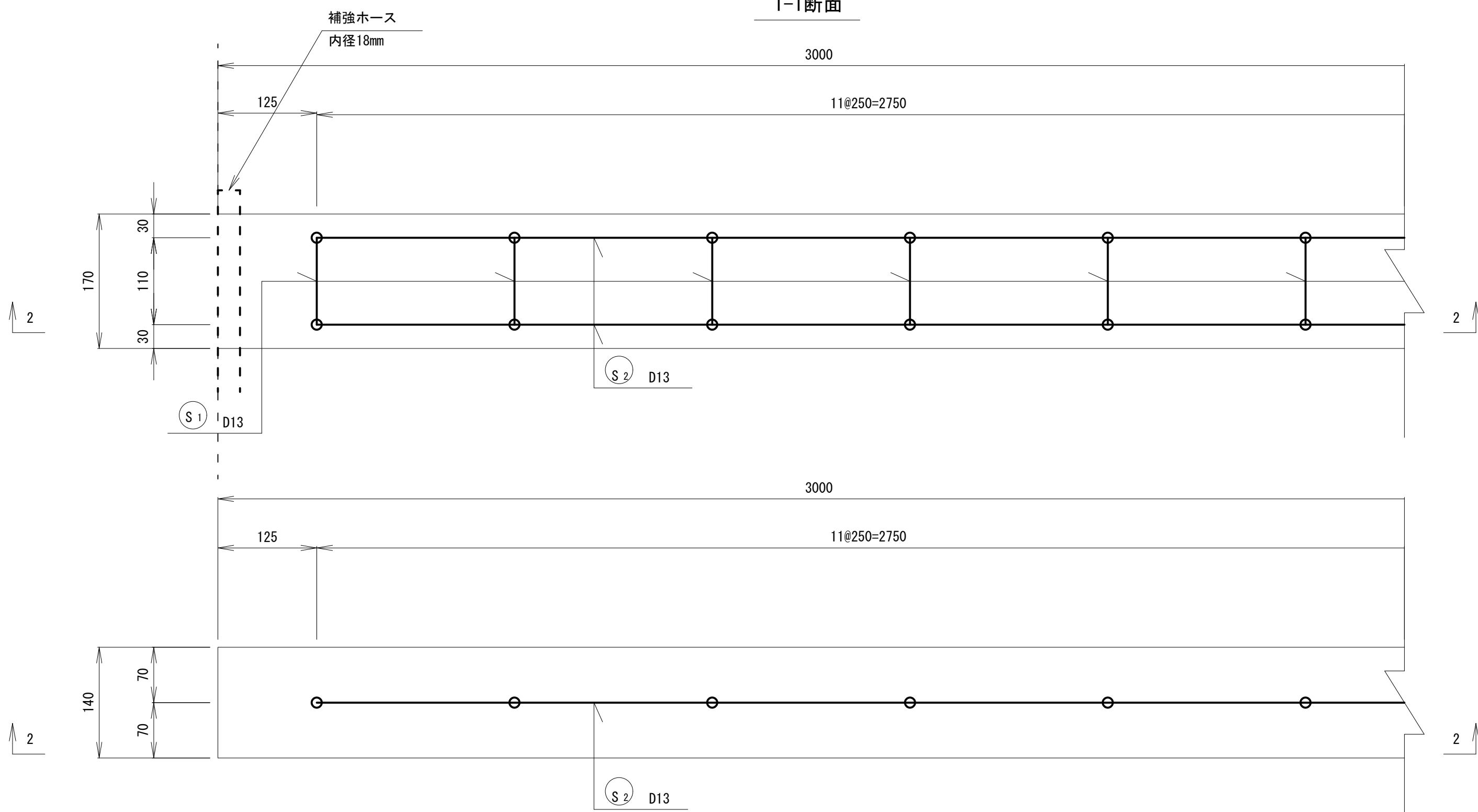
埋設ジョイント保護コンクリート 詳細図

S=1:5



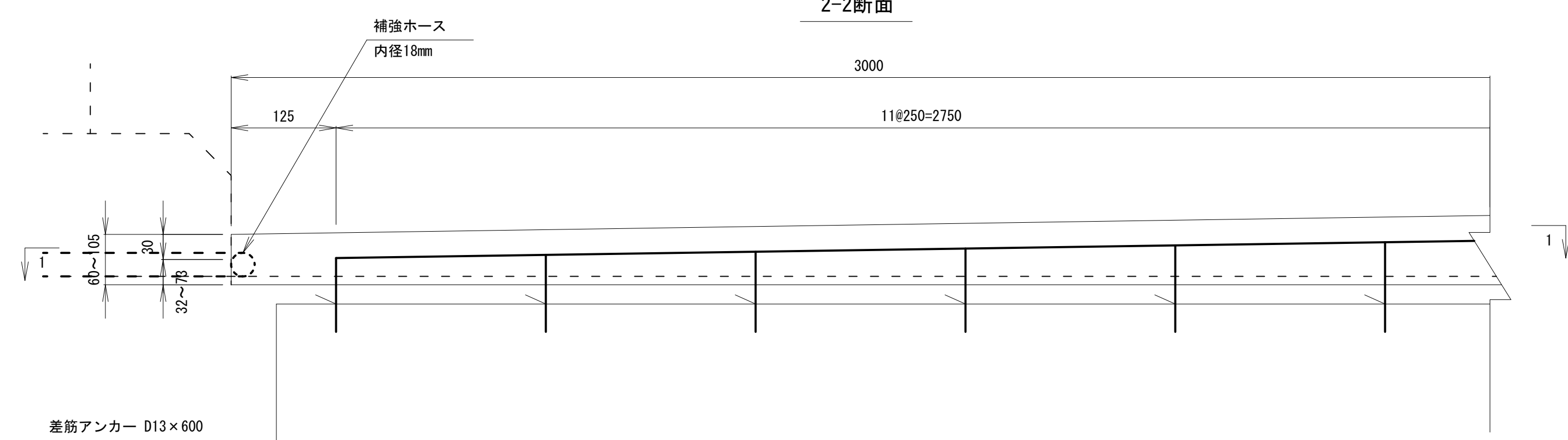
平面図

S=1:5



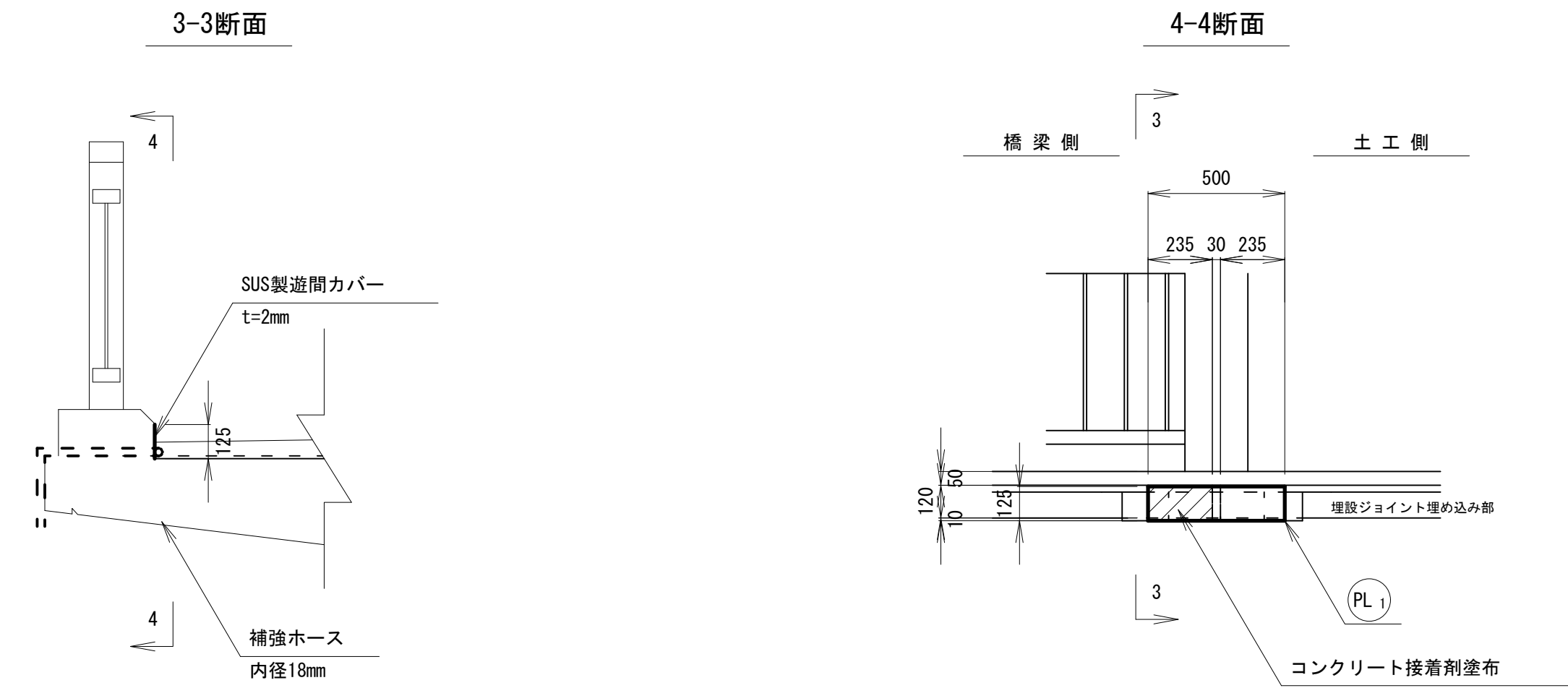
横断面図

S=1:5

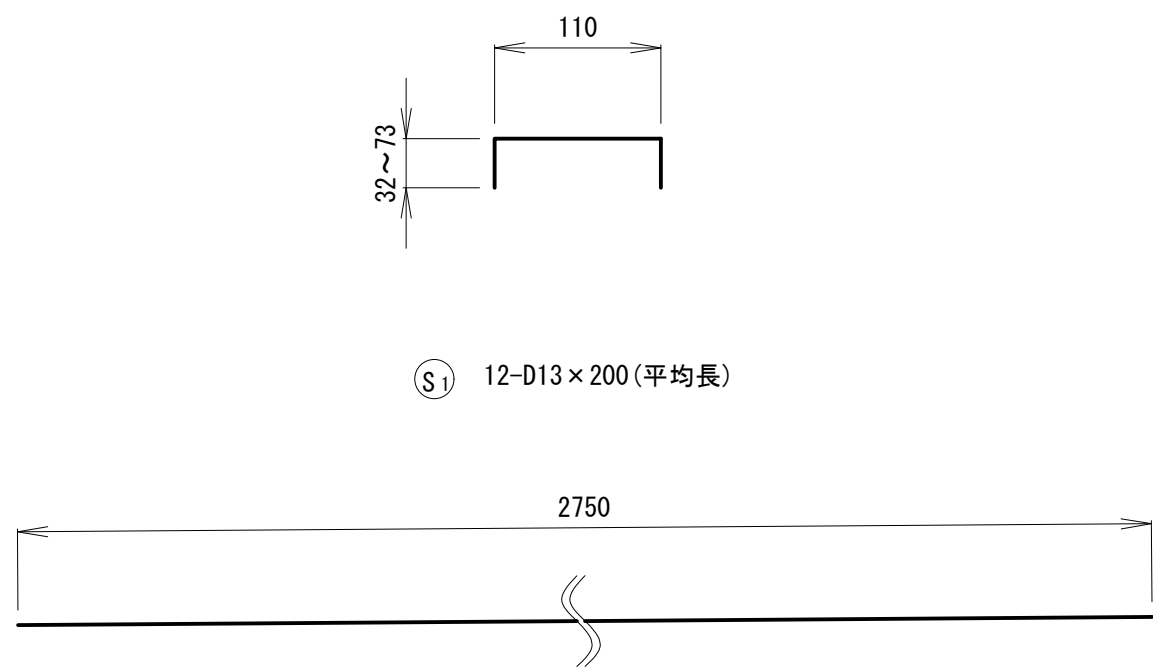


遊間カバー 詳細図

S=1:20

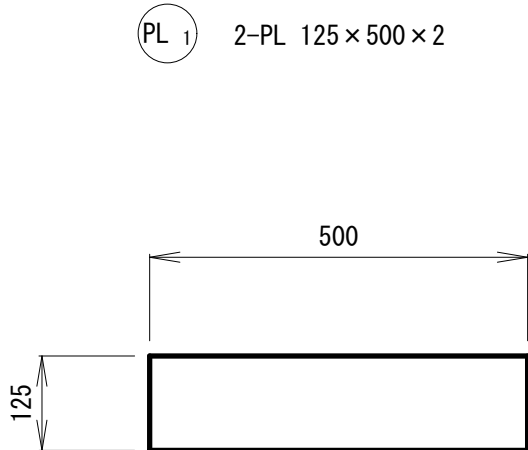


鉄筋加工図



遊間カバー 加工図

S=1:10



差筋アンカー数量表

1ジョイント当り	
径	本数(本)
D13	36

鉄筋表

1ジョイント当り							
記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
S1	D13	200	12	0.995	0.199	2	
S2	D13	2750	3	0.995	2.736	8	
合計						D13 10 kg	
総重量						10 kg	

- 注) 1. 地覆部については地覆高さのステンレス遊間カバーを地覆前面に型枠代わりとして上部工側のみをコンクリート接着剤で既設地覆と接着固定した状態で、埋設ジョイント用特殊合材を施工する。ステンレス遊間カバーは埋設ジョイントに埋め込み、地覆遊間部の止水板として使用する。
2. 縦断勾配下流側の埋設ジョイント地覆前面には、床版排水処理用のスパイラルメッシュφ18mmの排水をパラベット背面から既設のり面縦排水溝で導水する様、補強ホース内径18mmを埋設ジョイント内に前述の排水経路となるように配置すること。
3. 壁高欄表面の伸縮装置遊間部及に厚さ2mmのステンレス遊間カバーを設置すること。
4. 土工側にステンレス遊間カバーを定着出来る部材が無い場合には、別途遊間カバー定着用の部材を設置すること。
5. A2とA1は同構造である。
6. 地覆部施工時には、通信ケーブル等の埋設物がない事を確認すること。
7. 設計図面と現地状況が異なる場合は、協議の上、対応を行うこと。

業務名/工事名	H28 社会資本整備総合交付金事業 橋梁補修 工事		
路線名・河川名等	堂地橋		
施工箇所名			
図面の種類	堂地橋 伸縮装置詳細図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	7
会社名	中日本パワエィエンジニアリング名古屋株式会社		
事務所名	箕輪町役場		